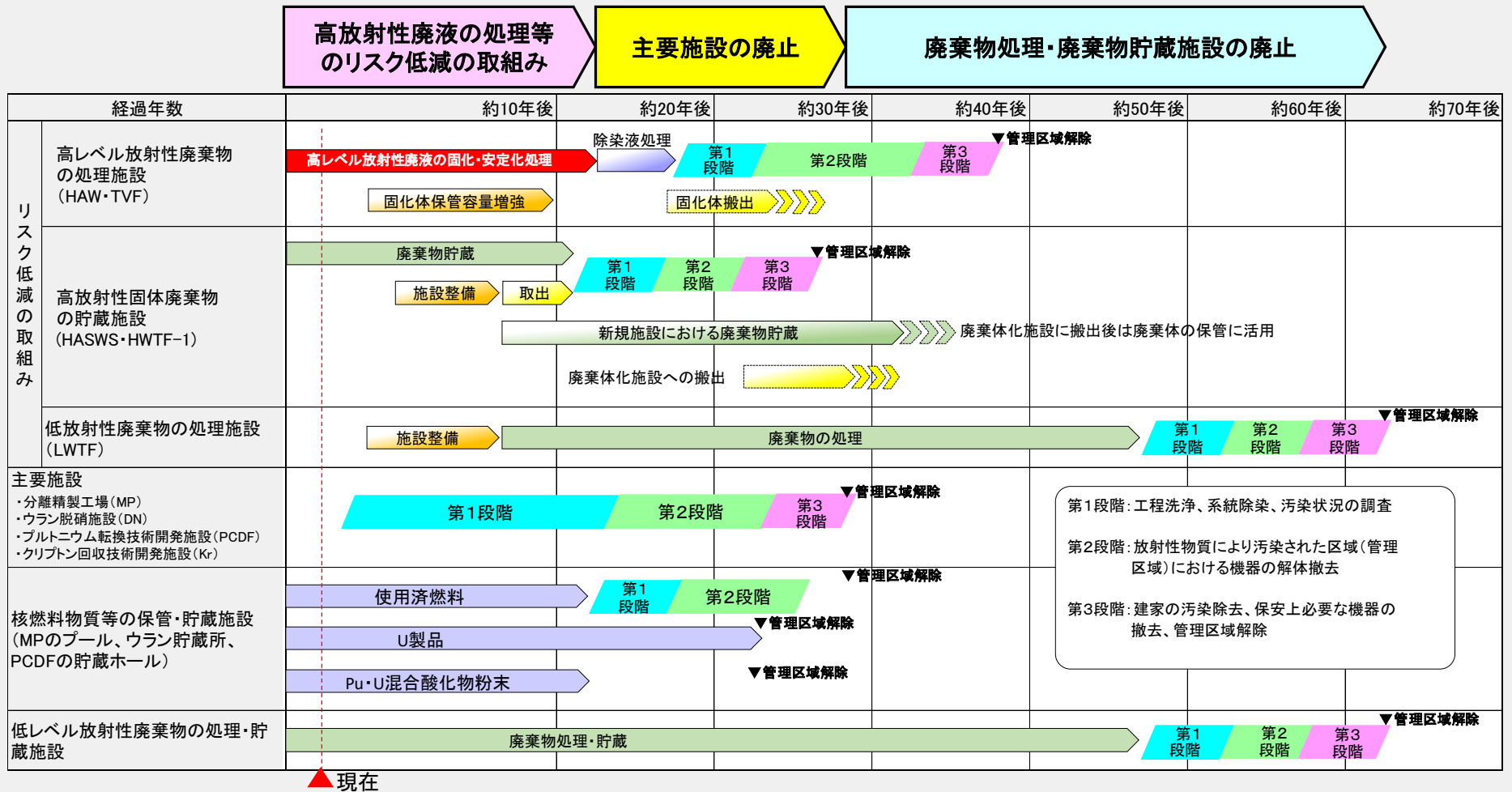


# 廃止措置の進め方 - 全体工程 -

約70年間の廃止措置計画は、高放射性廃液の処理等のリスク低減の取組み、主要施設の廃止、廃棄物処理・廃棄物貯蔵施設の廃止の順に進めます。



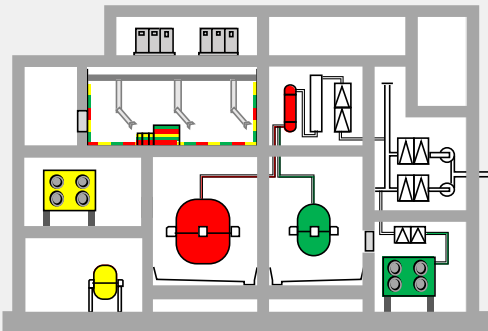
# －施設毎の廃止措置のステップ－

各施設の廃止措置は、基本的に①解体準備期間、②機器解体期間及び③管理区域解除期間の3つのステップに区分し、建家ごとにこの順序で実施します。

## 第1段階 解体準備期間

- ・工程洗浄
- ・系統除染
- ・汚染状況調査

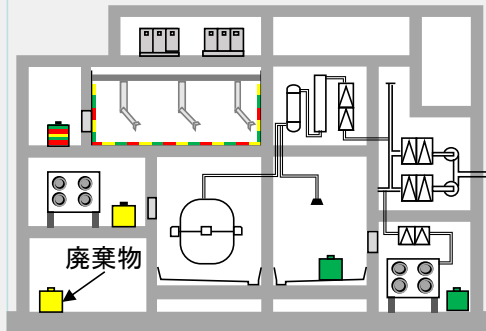
■: FP/TRU系   ■: Pu系   ■: U系



着手前(イメージ)

## 第2段階 機器解体期間

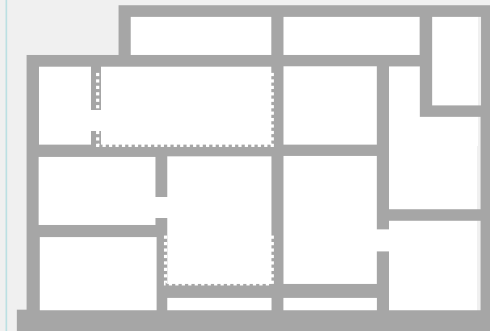
- ・機器解体
- ・解体物保管
- ・保管廃棄物搬出



作業中(イメージ)

## 第3段階 管理区域解除期間

- ・建家汚染除去
- ・汚染検査
- ・換気設備等撤去
- ・管理区域解除



終了後(イメージ)

# －核燃料物質の譲渡し－

- 使用済燃料（分離精製工場の貯蔵プールに貯蔵中）は、専用の使用済燃料輸送容器に収納し、専用の輸送船により、平成38年度（2026年度）までに国内又は我が国と原子力の平和利用に関する協力のための協定を締結している国の再処理事業者の再処理施設へ全量を搬出します。
- ウラン製品（ウラン貯蔵所等に貯蔵中）は、施設の管理区域解除までに廃止対象施設外の施設に搬出します。
- ウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)粉末（プルトニウム転換技術開発施設に貯蔵中）は、施設の管理区域解除までに廃止対象施設外の施設に搬出します。



使用済燃料貯蔵プール



ウラン製品の容器



ウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)

# －放射性廃棄物の取扱い－



- 過去の運転で発生した廃棄物 (約22,700トン)
  - 今後の廃止措置で発生する廃棄物 (約48,600トン)
- (合計 約71,000トン)



廃棄物の処理

廃棄物の貯蔵

処分事業の進捗と  
平仄を合わせて進める

処理方法変更のため改造



廃棄物処理施設  
(LWTF)

施設の活用



廃棄物貯蔵  
(既存施設)

廃止措置のため新設



廃棄体化処理施設  
(HWTF-2、TWTF-1,2)



廃棄物の処分



地層処分施設



中深度処分施設



浅地中処分施設